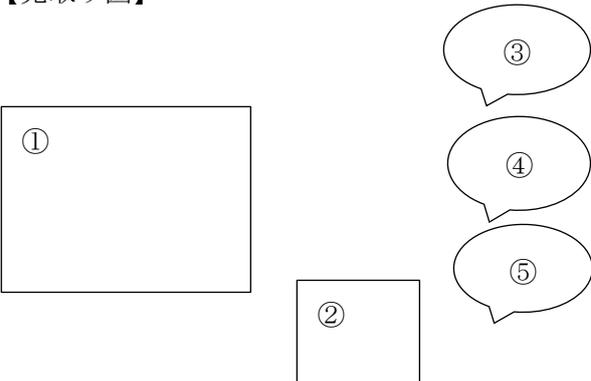


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 こんなときどうする</p>	<p>【学校名】 日上市立諏訪小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動</p>	<p>【制作者名】 芳賀 智子</p>
<p>【制作の意図】 同じ言葉でも人によって感じ方が違うことに気づき、適切な言葉掛けの仕方を考えたり、練習したりできる。さらに練習したことを日常場面で生かせるようにする。</p>	<p>【使用方法】 2人～4人で行う。まず1枚目の絵を見せて、セリフを吹き出しで順番に掲示する。どんな気持ちになるかを「気持ちの温度計」と併用し、友達の見え方がいろいろであることに気付かせ、適切な言葉掛けを確認する。次に2枚目の絵を見せて同様にセリフを吹き出しで掲示し、どんな言葉掛けが良いか意見を出し合う。</p>
<p>【制作上の工夫】 日常に起こりうる課題場面を設定することで自分のこととして捉えられえようにする。 声掛けを吹き出しで表し、タイミングを見ながら順番に提示し興味を引きつける。</p>	<p>【見取り図】</p>  <p>①～⑤の順に掲示する。</p>
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】 小集団の授業で活用することができる。 適切な言葉掛けを児童同士でロールプレイングし、日常場面でも思い出して取り入れられるよう支援する。 実際に起こった場面を新しく追加することができ、課題解決に役立てることができる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 画用紙 マジックペン クーピー マグネットシート</p>	